

メディアを考える市民のつどい

東京新聞 坂本充孝さんを迎えて

原発報道の敗北と 衆院選なだれ現象の深層

～権力監視のジャーナリズムを学ぶ～



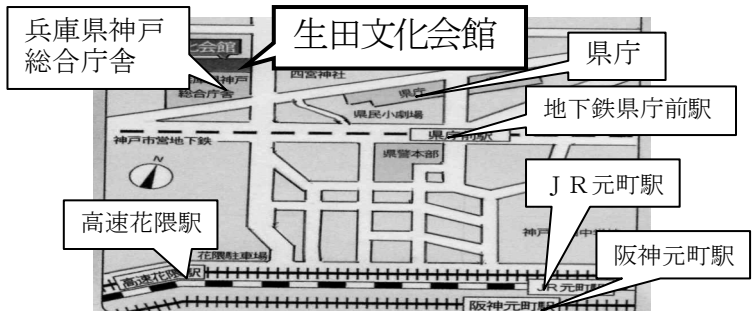
坂本充孝さん

東京新聞特報部は、3・11原発事故以後、政府の発表や記者クラブに依存せず、独自の情報ネットワークを生かした取材で「脱原発」を貫き、読者の大きな支持を得ています。しかし昨年末の総選挙は「原発推進」の自民党が大躍進する結果となりました。あれほど吹いた「脱原発」の風は、なぜ止んでしまったのか。報道のあり方に問題はなかったのか。元特報部の総括デスク・現大阪編集部長をお招きしてお話を聞きます。

さかもとみちたか
坂本充孝さん 1958年千葉県生まれ。早大卒。

1982年中日新聞社入社。東京新聞社会部で、阪神淡路大震災、オウム真理教事件、北朝鮮拉致事件などを取材。同特別報道部で、郵政民営化、東日本大震災、東電福島第一原発事故などを取材。2012年1月から大阪編集部長。特報部の原発報道で2011年日本新聞労連ジャーナリズム大賞、2012年菊池寛賞、日本ジャーナリスト会議大賞。

2013年 **1月26日(土)** 13:00 開場・13:30 開会
神戸市立 **生田文化会館(ホール) 2F** 電話 078-382-0861
参加費 一般 1,000円 学生 500円



神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車、西3番出口徒歩約5分
JR「元町駅」下車、西改札徒歩約10分
阪神電車「元町駅」下車、西改札口北出口徒歩約10分
神戸高速「花隈駅」下車、東改札口徒歩約10分

主催 **NHK問題を考える会 (兵庫)** 電話・Fax 078-351-0194